

市民感覚で、安心の暮らしと自治を育む

長野市の未来を考え、市民の幸せ実現へ。

行動します。働きます。



布目ゆきお市議 この4年間の活動…

行方不明高齢者の早期発見へ 認知症見守りSOSネットワーク を実現

認知症高齢者の行方不明が社会問題化する中、警察や消防だけでなく企業や団体の協力を得て、市から伝達される情報をもとに、24時間体制で行方不明者の早期発見・保護につなげられる「認知症見守りSOSネットワーク事業」を提案、実現することができました。さらに充実します。



介護難民つぐらない 長野市モデルを提言

介護難民をつぐらないために、国の基準を超えてサービスを上乗せする温かい「長野市モデル」をめざすよう提言し、実現を迫ってきました。国の仕組みのハードルは高いも

の、地域包括ケアシステムの拡充に力を注ぎます。
また、健康増進・健康寿命の延伸に向け「健康づくり推進条例」の制定を提案してきました。まだ実ってはいませんが、引き続き提案を続けます。

子どもの医療費、無料拡大 就学援助、入学準備金の就学前支給 の提案も実る

子どもの医療費の無料化、「入院」「通院」ともに所得制限なしで中学校卒業までに拡大。議会の強い要望で実現しました。

また、要保護児童への就学援助、小学1年、中学1年の入学準備金について、入学後から入学前の支給に見直しに。必要な時に必要な支援が実りました。

いじめ・虐待の未然防止・早期 発見・再発防止に力注ぐ

いじめ・不登校・虐待をなくすため、学校現場における迅速な初動対応の強化を質すとともにスクールロイヤーの導入などを提案。また、「子ども相談室」が発達障害等に関する相談に的確に答えられるよう充実させるとともに、子どものSOSを受け止め、子どもの人権救済につながる相談機能の拡充も提案。「子どもの権利条例」の制定も求め続けています。

格差と貧困の拡大を是正 市独自に暮らしの命綱を

格差の拡大と新たな貧困は社会問題となっています。生活困窮者支援で「生活就労支援センター・まいさぼ長野市」の事業拡大を強く求めるとともに、県社協の制度を活用し、連帯保証人がなくても市営住宅の入居を可能にすることができました。市独自に暮らしのセーフティネットを広げるよう、引き続き取り組みます。

また、DV被害者の駆け込み寺となっている母子生活支援施設について、改築検討の約束にこぎつきました。

小・中のエアコン整備進む

猛暑に対し良好な教育環境を整えるため、小中学校へのエアコン整備が始まりました。議会を挙げての取り組みの成

果です。早期の完全整備を引き続き求めていきます。

学校トイレの改修も早期に

また、学校トイレの洋式化をはじめ老朽施設の改修について、整備計画をつくり早期に実現するよう求め続けています。



公共交通への利用転換 バスロケ、ノーマイカー通勤など具体化

地域公共交通の再生は喫緊の課題。交通空白地域の解消や路線バスの維持・利便性の向上、公共交通利用月間の取り組みなど、公共交通優先のまちづくりを提案してきました。

路線バスの位置がわかる「バスロケーションシステム」の導入が実現、「スマート通勤応援運動」のノーマイカーの取り組みも具体化されることになりました。

「乗って残す公共交通」を掲げ、市民の移動を支える地域公共交通ネットワークの拡充に引き続き力を尽くします。

公契約条例の早期制定へ

市が発注する建設工事や委託業務などの公契約で、雇用の確保、適正な労働賃金を規定する長野市版公契約条例の早期制定に取り組んでいます。市は「県の取り組みを注視し調査研究する」姿勢を崩していませんが、大事な懸案課題です。

先進市の条例をさらに勉強し、引き続き条例制定に向け取り組みます。



公民館の交流センター化 営利目的利用の制限を明確に

交流センター化にあたり、地域づくり、生涯学習の推進を最優先し、営利目的の利用を制限するよう強く提唱。市からは「営利目的の利用は制限する。住民本位の運営を原則にする」との答弁を引き出しました。「学び」を通じたまちづくりの拠点として交流センター化が進められるようチェック。

放課後の子どもの居場所 有料化に反対

児童センターや子どもプラザ、「放課後子ども総合プラン」の有料化に反対、事業の無料継続を強く求めてきました。有料化となりましたが、児童センター等の施設の環境改善、支援員の処遇改善など、子どもたちの安全で安心な居場所づくりに尽力します。

また、国の職員配置基準の緩和に対し、現行の基準を堅持するよう強く求め、「子どもの安全第一に慎重に対応」との答弁に、基準緩和されないよう厳しくチェックします。

LGBTへの理解を広げ、権利確立 同性パートナーシップ認証制度を

身近で開かれた市議会へ！ 議会活性化をリード

議会活性化検討委員会委員長として、常任委員会のインターネット中継（録画配信）を実現。議員定数のあり方を検証し、議会の監視機能の拡充、中山間地域と市街地の均衡ある発展に鑑み、現行の39定数が適正であるとの意見をまとめてきました。議員不祥事が続きました。襟を正し、信頼回復に努め、開かれた議会に改革します。

